



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町 志津南 NEWS

志津南ホームページ
http://waka-kusa.net/

発行
志津南地区自治連合会
連絡先
志津南市民センター
(公民館) 563-6206

学以来地域の基盤整備が進み、乗降客数は平成16年度より草津駅、石山駅に次ぐ県内3番目に多い駅となっています。
平成20年度の1日当たり乗降客数は4万3800人で石山駅の4万8800人に迫っており、石山駅の4倍25500人の伸びを見せています。
平成22年度にはパナソニック

JRの新快速電車南草津駅停車運動を進めている促進期同盟会は12月24日、新快速停車をJR西日本に正式に請願しました。当日は橋川草津市長はじめ同盟会役員がJR西日本京都支社を訪れ、湊支社長に川瀬期成同盟会長が請願書を手渡し請願内容を説明しました。
南草津駅周辺では、立命館大学びわこ・くさつキャンパス開



駅にも実現を訴える横断幕

南草津駅に新快速を 促進同盟が請願書提出

クの草津工場への集約促進、野路西部、追分丸尾両地区の区画整備などが順次完了し、利用者の一層の増加が見込まれていきます。また新快速の停車はグリーンヒル地域にとっても利便性が向上し地域の発展にもつながることと住民の願いとするところ
です。
同期成同盟会は新快速停車実現に向け署名活動を展開中で、

12月23・25日の3日間は南草津駅、イオンモールの2か所街頭署名活動を行いました。また、人口が急増している大津市青山区の協力を得るため、12月18日に志津南自治連合会長と市担当者が山本青山区自治連合会長を訪れ、署名活動の協力を要請、山本会長もこれを了承しました。
志津南地区でも住民の皆様

の皆さんの意見を伺いました。その結果、いわゆる一般の公園におけるマナーを守った散歩まで禁止されることについては反対であるとの意見もありました。児童遊園についてはその設置目的から考えても「禁止措置にすべきである」との賛同意見が数多く寄せられました。

停車請願署名をお願いし1800人、570戸(全戸数の約63%)を超える多くの方から力強い署名をいただきました。同期成同盟会では6万3000人以上を目標に1月20日まで署名活動を続けることにしています。市民センターに用紙を用意してありますので、まだ署名されていない方はよろしくお願ひします。また、JRを利用されるときは、南草津駅の意見箱「キク象ボックス」に要望意見を投書してください。大きな力になります。
(自治連会長 小野栄祐)

犬の公園立入り禁止 若草1が地域で初の試み

これまで本紙面において、志津南地区公園内におけるペットのフン等について取り上げられ、自治連合会でもその対策

が協議されてきたところで、若草一丁目町内会が平成21年12月25日から地区内の児童遊園を「飼い犬を伴った立ち入り禁止区域」としました。

「草津市飼い犬のふん等の放置防止等に関する条例 第6条」に基づくもので、志津南地区では初めての措置です。



1丁目児童遊園に設置された看板

フン書の実態については11月配布の「わが町志津南ニュース75号」で述べられていた通りですが、一丁目児童遊園内の花壇や砂場、草むらにはフンが散見され、お子さんが安心して

衛生的に遊べる場ではありませんでした。また、一斉清掃やボランティアでの草刈時には、ひどい状態になることもあったようです。当然、児童遊園入り口には「犬の糞は持ち帰ろう」といった啓発看板が設置されていますが、マナーを守らない一部の飼い主の方に対してはまったく効力を発揮せず、もはやモラルに訴えかけるだけでは改善される見通しが立たない状況です。

そこで一丁目役員会で協議した結果、小さな子どもが安心して遊べる児童遊園にしておくべきではないことと意見がまとまり、「一丁目児童遊園のペット散歩禁止措置」に対する町内

一部のマナーを守らない飼い主のためにモラルある愛犬家の方が迷惑をこうむり、必要でなかったかもしれない今回の措置となったことは残念ですが、より良い住環境を作っていくためにはやむをえないことだったと考えます。

今回のことをきっかけに、犬の飼い主の方とそうでない方がお互いを理解、納得し合い、どうすれば全ての住民にとって暮らしやすい、清潔で緑豊かな志津南地区になっていくのかを考えていただけるきっかけになれば幸いに思います。

(若草一丁目町内会長)



子ども会の書き初め大会が1月5日、志津南市民センター（公民館）で行われました。写真。

当日は1年生から6年生までの37人の子どもたちが参加し、西口青咲先生（若草3）らの指導のもと、「ゆき」や「力もち」、「若い力」などお正月にちなんだ言葉を一字一字真剣な表情で筆を走らせました。
「この日の作品は草津市子ども会書き初め大会に出品され、1月10日の審査会で二年生の井畑永遠君（若草3）が平和堂店長賞を受賞したほか、コミュニケーション事業団理事長賞

力作ぞろいの書き初め

多くの作品は草津市子ども会書き初め大会に出品され、1月10日の審査会で二年生の井畑永遠君（若草3）が平和堂店長賞を受賞したほか、コミュニケーション事業団理事長賞

ふれあいミュージックソン盛り上がる



志津南市民センター（公民館）で活動しているサークルと地域の軽音楽愛好家による「ふれあいミュージックソン2009」が12月19日、盛大に開催されました。写真。

オープニングは「飛翔太鼓」。元気な子どもたちのパチパチと掛け声で、第1部「ときめき発表会」の幕を開けました。ダンスや舞踊音楽にと、7団体が日ごろの成果を存分に披露しました。一方、サロンでは、手作り作品を展示し、色鉛筆画、刺繍や生け花、アクセサリーなどの力作が光りました。

演奏などに日ごろの成果

手作りの力作も人気呼ぶ サロン展示

発揮、最後に全員参加で「琵琶湖周航の歌」を歌って、参加者と一体になって楽しみました。第2部は「カラオケ発表会」。なごやかな雰囲気の中、特設ステージを背に、10人がそれぞれ十八番を披露しました。第3部は「転じて「ダンスハッピー」。

子育てGのクリスマス会



子育てグループ「たんぼぼクラブ」おやこっこクラブ」合同

抱っこされた元気な子どもたちは会場の大らかなクリスマスツリーに大はしゃぎ、走り回っていました。
この日の世話係たんぼぼクラブ代表・井畑さんの進行でプログラムは進められ、当番のお母さん方による絵本の読み聞かせに目を輝かせて聞



サロンに展示された手作り作品

作と並んで、広告紙でブローチを作る体験コーナーも「へえー珍しい」「すてきね」と、意外性が好評でした。
また、今年初めて「忘れ物」を展示して持ち主探しを試みま



若草文庫

ケーキの飾りつけ

若草文庫は12月16日、恒例のクリスマスケーキの飾り付けをしました。小学生20数人が、ホイップ・クリームや果物、ポッキー、チョコレート菓子などでスポンジケーキを思い思いに飾りつけ、様々なデコレーション

したが、「こんなにたくさん？」と足は止まるものの、持ち主はひっそりとした。
なかなか見つからず、成果は今ひとつでした。

のクリスマス会が12月10日、志津南市民センター（公民館）で約80人が参加して開かれました。写真。
お母さんに手を引かれ、また抱っこされた元気な子どもたちは会場の大らかなクリスマスツリーに大はしゃぎ、走り回っていました。

（民児協）

南っ子がカードづくり



「わんぱくプラザ南っ子」の子どもたちが12月12日、イモ版を使ったオリジナルのポストカードづくりにチャレンジしました。写真。

材料に使った、「サツマイモ」は、今年5月に植え付け、10月に収穫し、ハロウィンパーティーで賞味した残りの小さなイモで、これを利用してのイモ版づく

こみみ

- 1月16日(土)・2月6日(土) 健康ウォーキング 8:45 若草中央公園集合
- 1月22日(金) 食育講座(米粉でデザート作り) 10:00~12:00
- 1月23日(土) 人権講座・同推協報告会 “人権コンサート” 19:00~21:00
- 1月26日(火) 地域サロン: 懐メロを歌う会 10:00~11:30
- 2月5日(金) 定例健康相談日 9:30~12:00 市健康推進課
ふれあい昼食会 12:00~13:00
ボランティア「泉」
- 2月6日(土) 市長とトーク 9:00~10:30
- 2月9日(火) 地域サロン: 懐メロを歌う会 10:00~11:30
- 2月13日(土) わんぱくプラザ南っ子 餅つき大会 9:40~12:00

印の会場は志津南市民センター(公民館)です

ちょっとお洒落にホテルへ



ボランティアグループ「泉」は12月14日、恒例の高齢者とボ

ランティアの交流事業「ふれあいバスツアー」を実施しました。今回は師走の寒いときでもあり、近場でちょっとお洒落にお食事を、と琵琶湖ホテルへ出かけました。写真。

晴天に恵まれたこの日、笑顔の参加者33人がバスで出発しました。近江大橋を渡る窓外はまぶしいほどの陽の光、青々とした琵琶湖の眺め、ほどなく琵琶湖ホテルに到着。ロビーの大きなクリスマスツリーが迎え

くりとなりました。若草二丁目の城下さんの指導で、協力者に手伝ってもらいながら、子どもたちは「何の絵にしようかな」「おじちゃんに手

伝ってもらおう」「やり直していい?」「他の色はどうかな?」などと悪戦苦闘。それでも、イモの断面に下絵を描いて、竹串や彫刻刀を駆使してハンコに仕立てていきます。木や星、トラや数字、羽子板

や羽根の形に思い思いの色を付けて紙に押し付け、カラフルなクリスマスカードや年賀状に仕上げました。子どもたちの力作は、市民センターの玄関に展示していますので、ぜひご覧ください。

てくれました。

ゆったりとした広い空間にたずむとちょっとした旅人気分。カイツブリの浮かぶ湖面、浜大津港名物になった大きな扇

懐かしい歌を熱唱

地域のみんなで楽しく歌いながら交流を広げようと恒例の「歌い継いで行きたい日本の歌」みんなで歌うふれあいの会(志津南社会福祉協議会主催)が12月20日、志津南市民センター大会議室で開催されました。写真。



形の噴水を望みながらのお食事会となりました。「初めてです」「家内との記念日にきました」などなど、会話も和やかに楽しく弾んでいました。お土産も買い込み午後2時に市民センターに帰着後は2次会です。「ほっと出来る場所です」とお茶の時間にまだ話が尽きません。今回で24回目(12年間)も無事終え次回を楽しみに解散しました。(ボランティアグループ「泉」)

今回もクラシックギター愛好家の村井教夫さん(若草3丁目)のギター伴奏で「聖者の行進」「聖夜」の合唱でスタート。このあと、事前に参加者から募った「歌い継ぎたい日本の歌」を中心に全20曲を歌いました。第一部は藤山一郎さんのヒット曲「青い山脈」、美空ひばりさんの「愛さんさん」、山口百恵さんの「いい日旅立ち」、吉永百合子さんの「いつでも夢を」など懐かしい歌9曲を歌いました。ボランティアさんの甘いおぜんざいとお茶の振る舞いを受けたと第二部へ。

舟木一夫さんの「高校三年生」を皮切りに「知床旅情」「四季の歌」「琵琶湖就航の歌」など

9曲を歌い、最後に戦後の苦しい時代にラジオで耳にした懐かしい童謡「みかんの花咲く丘」の大合唱で終わりました。当日は暖かい日で約60人の参加者が歌と談笑に時の経つのを忘れ楽しみました。(志津南地区社会福祉協議会)

23日に人権コンサート

「心のぬくもりを伝えたい」をテーマに第2回人権講座を次の通り開催します。すてきな音楽とお話です。多数のご参加をお待ちします。

日時 1月23日(土) 午後7時から同9時まで
場所 志津南市民センター

内容 「デイトEです」さんのコンサート、講話など

2月4日に人形劇公演

湖南市の人形劇サークル「おにぎり村」の公演(地区民生・児童委員主催)が2月4日(木)午前10時30分から11時30分まで志津南市民センターで行われます。

おにぎりのようにぬくもりのこもった人形劇をお子様と一緒に楽しんでください。リズムに合わせて踊る愉快な人形たちと一緒に来てください。地域のみなさんもぜひご参加ください。お待ちしております。入場無料。

サクラ万歳

20

に現れる世界だと聞
く。

いつまでもなく、

勝負事は相手の出方を読むこ
とがすべてと云っている。読み

12月中旬の志津南市民セン
ター。20畳の和室に碁盤が並
んでいる。5組が対局してい
たが、話し声はおるか咳(しわぶ
き)一つ聞こえない。名人上手
と同じように盤面に集中してい
る。

何手先まで読もうとしている
のか、真剣なまなざしが石を見
つめる。碁というのは「運」が
勝負を左右することが少ない、
どちらかといえば実力差が正直

4年に坂重さん(77)と若草
5丁目から囲碁好き6人が集まっ
て3丁目の集会所で「若草囲碁
クラブ」を旗揚げしたのが始ま
り。

その後、会員が増え対局もま
まならなくなってきたため、平
成11年にクラブを二つに割り、
小嶋昭久さん(77)と若草2
丁目を代表とする「志津南囲
碁クラブ」を新設、土曜と木曜

若草志津南囲碁クラブ

読みこしのぎ削る

そうであつ 両方に顔を出しても構わない。
ても、互い いわば会場確保のための苦肉の
に自宅を訪 策で、活動はあくまで一体であ
問しあつて る。

暮敵(こが 春と秋の年2回総当たりりのリ

たき)対局 グ戦、36〜40局を行い、優勝
を楽しんで 準優勝(15勝5敗以上)が昇
いる人も多 段する。「級」クラスはクラブ
の最高位(河村直治8段)が各
人。成績を見て昇級認定を行う。

「若草志 津南囲碁ク 会員には5〜6段が多く、有段
者には8割以上を占めるとい
う。」「とろろ ちなみに若草代表の坂重さんは初
段、志津南代表小嶋昭久さん
は2級である。

もとは平成 対戦を楽しんでいる。ご隠居

さんたち(失礼)にまじつて
盤上をにらむあどけない顔があ
る。鐘ヶ江充多君(青山小4年)
である。去年の9月からクラブ
の許可を得てオープン参加して
いる。小四の時、神奈川県茅ヶ
崎市に住む祖父の家に行った折
に打ち方を教わった。もちろん
負けたが、興味を覚えた。帰っ
てから碁の入門書を読み囲碁読
本の類を読みあさった。何目置
かせてもらっているかはともか
く、勝つこともしばしば、とい
うくらい力をつけた。クラブの
人たちも「強くなったよ」と認
める。充多君は「考えれば考え
るほど強くなるし楽しさが分か
る」とこれからもずっと碁を続
ける、ときっぱり。そしてでっ
かく「8段に勝ちたい」とメガ
ネの奥で目を光らせた。

代表 若草囲碁クラブ・坂重
志津南囲碁クラブ・小嶋昭久
会員 32人
活動 毎週土曜日午後1時か
ら同5時まで志津南市民センタ
ーで。

会費 年額1200円
連絡先 坂代表 電話(565)
8163。小嶋代表 電話(5
65)4411



まめバス運行試験遅れる

草津市が新たな公共交通手段
導入の可能性を検討するため、
11月から市内七路線で「まめ
バス」の運行実験を開始からす
る予定でしたが、現在のところ
は一路線のみ運行にとどまっ
ています。

昨今の景気低迷による生産力
低下とエコカーに特化した生産
体制などの影響で、「まめバス」
車両の確保が遅延しているため
です。

年明けから3月までの早期に、
段階的に運行できるように準備
を進めていますので、「ご了承
ください。

(市交通政策課)

折々の記

昨年10月 10日、志津
南地区社会 福祉協議会
主催の平和 祈念講演で浦晴子さんによる
「母から娘へ託す平和への願
い、ピアノ弾き語り」を聞か
せていただきました。

お母さんの浜キミエさんが
夫を戦場に送り、
家を守り子ども
を育てながら詠
まれた数多くの短歌に曲をつ
けたピアノの引き語りでした。
当時のことを色々と話を入
れながらの歌に、平和の大切
さを痛感し、目頭の熱くなる
思いで聞かせていただきました。

戦中戦後を生きてきた私た
ちは同じ環境だったと思いま

母の記憶

私もお母さんと同じように苦し
み悲しみを味わいました。私
の母には、浜キミエさんのよ
うな文学的な遺品はありません
でした。けれども母が寝食
を忘れ、黙々と身を粉にして
私たちを育ててくれたその姿
を思い出し、
母は「真つ直
ぐに生きる心」
を残してくれたんだと気づき
ました。

私もこれからの人生、「真つ
直ぐに生きる心」を子どもや
孫が私の背中を見て分つてく
れるような人間になりたいと
思います。

(4丁目 愚か者)



静粛に包まれた対局場にみなぎる熱い戦い